



資源開発環境調査

タジキスタン共和国

Respublika i Tojikiston
(Republic of Tajikistan)

目 次

| | |
|-----------------------------|---|
| 1. 一般事情 | 1 |
| 2. 政治・経済概要 | 2 |
| 3. 鉱業概要 | 3 |
| 4. 鉱業行政 | 4 |
| 5. 鉱業関係機関 | 4 |
| 6. 投資環境 | 4 |
| 7. 地質・鉱床概要 | 5 |
| 8. 鉱山概要 | 6 |
| 9. 新規鉱山開発状況 | 7 |
| 10. 探査状況 | 7 |
| 11. 製錬所概要 | 7 |
| 12. わが国のこれまでの鉱業関係プロジェクト実施状況 | 8 |
| 資料（統計、法律、文献名、URL 等） | 8 |

1. 一般事情

- 1-1. 面積 14万3,100 km²
- 1-2. 人口 651万人 (2002年1月現在)
- 1-3. 首都 ドウシャンベ
- 1-4. 人種 タジク人 79.9%、ウズベク人 15.3%、ロシア人 1.1%、その他 3.7% (2000年)

1-5. 公用語

タジク語 (ペルシア語などとともにイラン語派の西片方言群を形成する言語。現在タジク共和国で使用されているタジク語北西方言はウズベク、カザフ、キルギスなどのチュルク諸語との接触により本来の構造を大きく変えた)

- 1-6. 宗教 イスラム教スンニー派が優勢

1-7. 地勢等

紀元前6世紀 アケメネス朝ペルシア帝国に属す。紀元前4世紀 アレクサンドロス大王により制圧される。1~3世紀 クシャン朝 7世紀以前 中央アジア南部のバクトリア、ソグド、彫らず無知法に独自の文化を形成。7世紀以降 トルコ系遊牧民の進出により、次第にトルコ化が進んでいく。16世紀 ウズベク族が侵入し、ブハラ・ハーン国の支配下になる。

1866年 ロシア軍、タジキスタン北部を占領

1868年 ロシア帝国の保護国となる。

1918年 トルキスタン自治ソヴィエト社会主義共和国の一部としてロシア共和国に編入。

1924年 中央アジアの民族間国境画定の結果であるとして「タジク自治ソヴィエト社会主義共和国」としてウズベク・ソヴィエト社会主義共和国に編入。

1929年 ウズベク共和国から切り離され、タジク・ソヴィエト社会主義共和国として連邦構成共和国に昇格した。

1990年8月24日 共和国主権宣言

1991年8月31日 共和国国名変更

1991年9月 9日 共和国独立宣言



(東方観光局 HP)

2. 政治・経済概要

2-1. 政体 共和制

2-2. 元首 ラフモノフ、エモマリ・シャリボヴィチ大統領（1999年11月選出、任期7年）

2-3. 議会 二院制

2-4. 政治概況

1992年5月 共産党勢力と反政府勢力とが連合政権を樹立したが、同年9月には両勢力間の対立が武力衝突に発展した。同年11月に大統領制から議会指導性へ移行。ラフモノフ最王会議議長は国内和平達成を期して CIS 合同平和維持軍の派遣要請等、積極的な外交を展開。1994年には政府と反政府勢力との間で暫定停戦合意が達成され、それを受けて国連安保理も国連タジキスタン監視団（UNMOT）の派遣を決定。また同年11月には、大統領制の復活に伴い大統領選挙が実施され、ラフモノフ最高会議議長が60%の得票率で当選した。

その後、政府・反政府勢力代表ヌリ氏が紛争停戦交渉の開始に合意。両者は同月23日にモスクワで「和平協定」及び「民族和解委員会に関する議定書」を署名。1997年6月に最終和平合意（「一般協定」）を達成し、その履行への努力がとられた結果、1999年9月26日に憲法改正の国民投票が、同年11月に大統領選挙が行われたほか2000年2月及び3月に議会選挙が行われ、和平プロセスは完了した。右を受け、5月15日に UNMOT じゃその任務を終了し、今後同国の復興等を支援するため新たに国連タジキスタン和平構築事務所（UNTOP）が設立された。

2-5. 主要産業 農業（綿花）、アルミニウム生産、水力発電

2-6. GNI 12 億ドル 一人当たり 180 ドル (2002 年 世銀)

2-7. 通貨 ソモニ (SM)

2-8. 為替レート 1 US \$ = 3.033 ソモニ (04 年 8 月 24 日現在)

| 年末 | 1999 年 | 2000 年 | 2001 年 | 2002 年 | 2003 年 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1US \$ = | 1.436 | 2.200 | 2.550 | 3.000 | 2.957 |

(International Financial Statistics 2004)

2-9. 貿易 (00~03 年 CIS 統計委員会)

| | | |
|-----|----------|-----------|
| 輸 出 | 7398 億ドル | 卑金属、綿花、電力 |
| 輸 入 | 8.81 億ドル | 化学製品、機械 |

対日貿易 (03 年 財務省貿易・通関統計)

| | | |
|-----|----------|-----------------|
| 輸 入 | 5,100 万円 | 輸送用機器、一般機械、電気機器 |
| 輸 出 | 8.1 億円 | アルミニウム、アルミニウム合金 |

2-10. 経済概況

旧ソ連の共和国の中では最も貧しい国。独立以降紛争が続いたために生産水準全般が低下する等、非常に苦しい経済状況にあり、中でも失業問題が大きな社会問題となっている。農業、牧畜が産業の中で、農業はウズベキスタン同様綿花と果樹に特化しており、特に綿花は旧ソ連の全体の 10%強を生産している。工業部門では、繊維産業が比較的発達している。鉱物資源の規模はそれほど大きくないが、亜鉛、錫のほかウラン、ラジウム、ビスマスなどの希少金属の鉱床を有している。1995 年 5 月 10 日より独自通貨「タジク・ルーブル」を導入した (2000 年 10 月「ソモニ」に変更)。

3. 鉱業概要

3-1. 概要

鉱産品目別生産量タジキスタン共和国に賦存する主要金属鉱物資源としては、世界第 5 位のアンチモンやタングステン等が知られている。その他、エネルギー資源としては、同国南部を中心とした、4.3 億 t の石油、1 兆立方メートルの天然ガスの埋蔵が報告されている。

また、非鉄金属鉱産物の生産としては、世界第 4 位のアンチモンの他、従来、ビスマス、銅、金、鉛、亜鉛、水銀、モリブデン、銀、タングステンの比較的小規模な生産が行われてきた。また、同国南西部に位置する輸入アルミナを原料とするアルミニウム精錬所は、旧ソ連で最大級の生産規模 (520,000t/年) を有するが、同国内の社会・経済混乱を背景に稼働率が低下している。

同国における金属資源に係る探鉱等投資は、主として同国北西部における金を対象として、欧州、カナダの探鉱企業と同国政府の共同事業体により行われており小規模の金鉱床を捕捉する等所期の成果を挙げつつある。

(1) タジキスタン共和国の鉱物資源埋蔵量

| 鉱種 | タジキスタン (A) | 世界 (B) | (A) / (B) (%) | ランク |
|-----------|------------|-----------|---------------|-----|
| アンチモン (t) | 150,000 | 3,900,000 | 3.8 | 5 |

出典：Mineral Commodity Summaries 2004

(2) タジキスタン共和国の主要非鉄金属の生産量 (2003 年)

| 鉱種 | タジキスタン (A) | 世界 (B) | (A) / (B) (%) | ランク |
|----------------|------------|----------|---------------|-----|
| 鉛鉱石 (千 t) | 2.1 | 2,850.5 | 0.1 | 31 |
| アルミニウム地金 (千 t) | 319.4 | 28,001.3 | 1.1 | 19 |
| 金鉱石 (t) | 2.5 | 2,349.4 | 0.1 | 36 |
| アンチモン鉱石 (t) | 3,480 | 154,538 | 2.3 | 4 |

出典：World Metal Statistics Yearbook 2004

4. 鉱業行政

4-1. 法律

未詳：鉱業法は未整備のままとの情報もある。

5. 鉱業関係機関

5-1. 政府機関

中央地質局 (Tajikglavgeology) という組織があり、調査探鉱プロジェクトなどを管轄している模様。

6. 投資環境

6-1. 外資政策

政府は外国投資導入のために優先分野を指定しており、これには電力、鉱物鉱業、農業分野などの優先度を上位に位置づけている。

6-1-1. 投資に関する法律及び規定

政府は外国投資法、民営化法、貿易活動法などの法整備を行い、外資の誘致をはかっている。外国投資法は、1992年3月10日に採択され、2002年11月に直近の改正がおこなわれた。この法律により、100%外資による企業の設立や外資による国営企業の民営化への参入が可能となった。

6-1-2. 貴金属・非鉄鉱業分野への外国投資

・金： Zerafshan 鉱山、Dzhilau 鉱山及び Jilau 鉱山で操業する Zerafshan Gold Co. お

よび Yak-Suyskoye 砂金鉱床を所有する Darvas JV に英企業がそれぞれ定款資本の 44%及び 49%出資している(Richard M. Levine & Glenn J. Wallace ,2001)。

- ・ 鉛：Konimansur 鉛鉱山に対して 2004 年 1 月にカザフスタン企業が 49%出資して JV 企業が設立された。

現在、タジキスタン政府は、金、銀、鉛、タングステンなどのプロジェクトに対して、外国パートナーの参入を招致している。

6-2. 一般状況

タジキスタンでは内戦の影響やその後遺症が未だにあること、並びに山岳国のために輸送インフラが未発達であることなどにより、外国直接投資レベルはきわめて低い水準にとどまっている。IMF が 2003 年に発表したデータによると、タジキスタンへの外国直接投資額は約 2500 万ドルであり(表 1)、2003 年までの直接投資累計額は中央アジア・コーカサス地域 8 カ国中最低である。比較的規模が大きいものは金鉱山開発プロジェクトと繊維工場プロジェクトなどの 2~3 の開発に関する投資のみである。

6-3. 政治リスク

2003 年 6 月の議会選挙で大統領与党 PDPT 党が圧勝し、憲法の一部修正が承認された。これにより、現職のラフノモフ大統領が任期 7 年の大統領職にさらに 2 度立候補できることになった。2006 年に大統領選挙を控えているが、この選挙でもラフノモフ大統領の圧勝すると考えられ、今後大統領の政治態勢が安定すると思われる。一方で、野党を含め、内部で競い合っている政治指導者たちは現職の大統領がこの先長期に渡り大統領職を継続するといった状況を受け入れず、政治が再び不安定な状況になる可能性もある。現在の治安状況については、新たに国連タジキスタン和平構築事務所(UNTOP)が設立されたこと、アフガニスタンからの武装勢力の流入が米同時多発テロ後には完全にストップしたこと、更にラモノフ政権が反大統領勢力の取り締まりを強化したことなどにより、急速に回復している。

6-4. その他

タジキスタンは、移行経済国の中での最貧国であり、制度・事業環境面できわめて低い評価を受けている。2004 年にヘリテージ財団が行った格付けでは、汚職・腐敗度が高く(133 国中 128 位)、経済の自由度も低い(155 国中 146 位)と評価されている。

7. 地質・鉱床概要

7-1. 地質

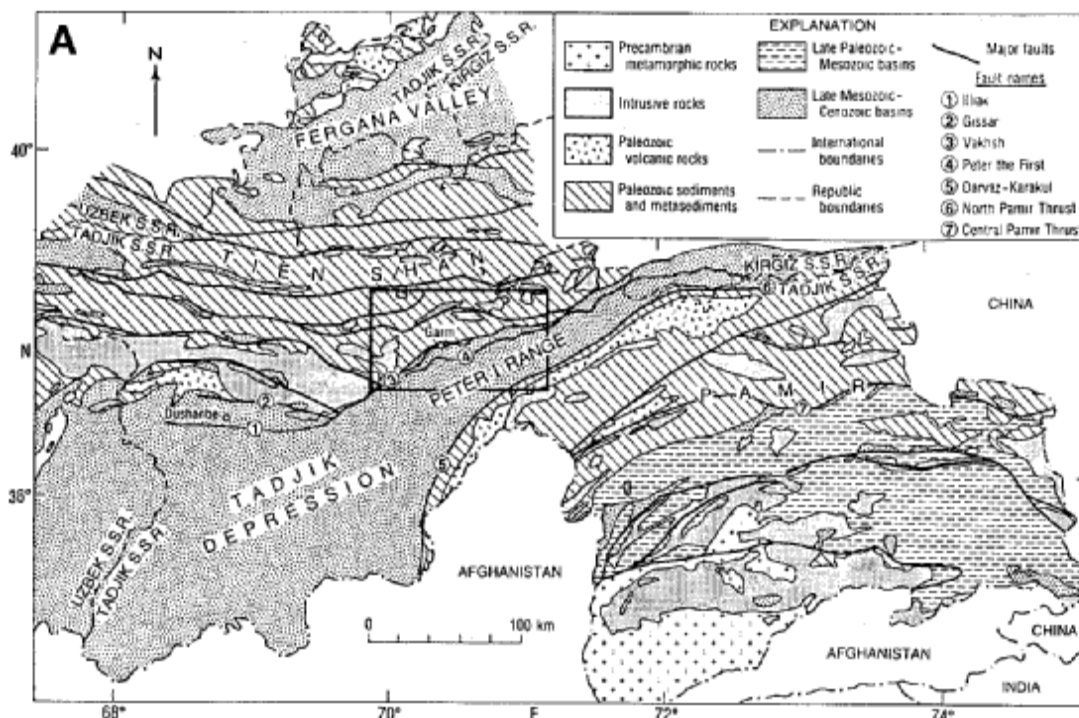
中央アジアの山岳地帯は、各地質単元がモザイク状に複雑に絡まっている。すなわち、南西パミールは先カンブリア時代の基盤地塊で、天山山脈は古生代の造山運動の産物で、タジク沈降帯は中生代から新生代の堆積物で、中央および北パミールは古生代から初期新生

代の島弧/大陸周縁複合物で構成されている。

これらの山岳地塊は複雑な活断層系区切られている。すなわち、北パミール断層と Darvaz-Karakul 断層はパミールを北と西の地塊から限り、Gissar-Koksuhal 断層系は天山を南の地塊から分ける。

7-2. 鉱床

タジキスタンには、金鉱床が知られている。Daravaza 砂漠には砂金があり、西 Zeravashann の Toror には金の鉱脈鉱床がある。また、Bolshoi Kanimansur 鉱床からは銀が産出した。北 Karamazare 山脈には、水銀、モリブデン、貴金属の鉱床がある。また、アンチモンの鉱床が知られている。



タジキスタンの地質

(平成6年地質解析委員会報告書 CIS 諸国の地質と鉱物資源)

8. 鉱山概要

鉱山概要 (操業鉱山)

記号: Tajikistan-PbZn-Pai-bulak

国名/地域 : Tajikistan/ Sogdi 州

名前 : Pai-bulak

位置 : Sogdi 州

会社名 (権益比率) : Altyn-Topkan Mining Plant

鉱床 鉱種 : Pb Zn

生産量（直近5ヵ年） 生産開始年：
鉛・亜鉛精鉱をそれぞれ16～17千t/年レベルまで引き上げる計画を有し、実現化に向けて
外資を招請している。

文献

・金属資源レポート 2004.05 Vol.34 No.1 特集号：世界の鉱業の趨勢 JOGMEC

鉱山概要（操業鉱山） 記号：Tajikistan-Au-Jilau

国名／地域 : Tajikistan

名前 : Jilau Gold mine

位置 : 39° 18′ 北緯、67° 40′ 東経

会社名（権益比率）：AVOCET MINIG PLC

鉱床 鉱種 : Au

生産量（直近5ヵ年）

| 年 | Au (t) |
|------|--------|
| 1999 | 2.470 |
| 2000 | 2.439 |
| 2001 | 2.350e |
| 2002 | 2.000e |
| 2003 | 1.755 |

(出典：Raw Materials Data)

9. 新規鉱山開発状況

該当なし

10. 探査状況

該当なし

11. 製錬所概要

該当なし

鉱山製錬所位置図



凡 例

■ 探鉱開発 ▲ 操業鉱山

操業鉱山

Pai-bulak (Altyn-Topkan Mining Plant) Sogdi 州

Jilau gold mine

探鉱開発・精錬所 該当無し

12. わが国のこれまでの鉱業関係プロジェクト実施状況（金属鉱業事業団、JMEC 等）

該当なし

資料（統計、法律、文献名、URL 等）

金属鉱業事業団 平成 6 年地質解析委員会報告書 CIS 諸国の地質と鉱物資源

社団法人 海外コンサルティング企業協会（2003）：平成 14 年度総合開発技術支援調査事業、中央アジア総合開発調査（ウズベキスタン・タジキスタン）

日本貿易振興会（2004）：ビジネス・調査報告データ、中央アジア・コーカサス諸国の国別概況 2004 年度版